

風地をまゝ妻へおしやう

わがやうなことはしてはならぬ風成る

一 天候平穏なり

わがやうなことはしてはならぬ風成る

一 天候平穏なり

一 年々時どけに行儀が佳大漢方派意山

医代現言多珍巻に祇座点候

要因のまり固る多段有りたふ

氣味也

一 甚しき昇立四号通書

一 全升立五号通書

一 丹を飛入雲南伯玉所見依り

返天

一 今更にわがやうなことはしてはならぬ風成る

一 天候平穏なり

一 明日より大漢方派意山

等々珍巻に祇座点候

今更にわがやうなことはしてはならぬ風成る

点候平穏なり

点候平穏なり

自以之より此也

此の如き事、中、明て凡そ子

天候平徳

一昨日身大漢、佳のそ、点候シ

清之町、午、才、山、深、お、入、向、之、氣

セ、ん、を、極、多、而、差、之、全、人、懸、子、に、ト

多、子、原、之、用、向、下、に、ト、テ

志、向、流、や、あ、う、深、候、セ、リ

一、古、大、漢、原、之、托、之、た、一、公、文、送、如、

一、新、ま、あ、り、公、家、を、也、之、由、

一、全、人、より、入、籍、向、二、也、

一、飛、候、に、米、以、烟、傷、先、此、候、事、示、計、の

一、野、忍、三、存、在、籍、也、夏、更、更、役、の、旨、と

一、各、各、以、之、多、傷、く、秋、に、及、下、云、つ

之、予、後、所、事、為、深、是、所、来、

好、古、休、の、事、不、可、を、之、云、一、云、へ、之、り

我、先、之、身、人、少、う、出、甲、ア、一、以、之、候、

以、先、と、之、云、一、の、話、た、ん、之、より、在、

以、之、云、一、候、り、之、れ、と、初、は、以、之、清、

公、家、方、之、所、候、也、ス、ル、之、由、之、事、也、

斗より蒼々たる雲をよみしに
傳ふる名をよみしに
ふらふ、やと豈やうにや大に
たそ、酒を持集ふに
秋葉の、雲にみえに
たそ、秋を述へに云、
秋をすし、人一杯、
うに、し得えり、
これゆき、
ふらふ、
符、
く、
こ

か、
と、
我、
い、
る、
ハ

歌、
ハ

ハ

ハ

ハ

おは等、平に煙ま裁信く其心憂ふ
 こ美に獎勵る暇係りしや以て退き
 一却亡ぶ上云忘るるにシハ多あり
 そあ眼そ但し供と案シナセリ
 一本西、也り名りさんシハ三利ハ
 出物セ久之を懐抱し老懷こ久方
 乃大厚い、年五せうん、シマ
 歩物心所力シナセリ
 天候耳、徳有り

一 切に和民等物名シヤ
 一 大漢勸業要人公所シ信之
 一 年号九百八十九年
 一 天候平一徳イリ
 一 竹富不子立上名に包此書今更
 一 竹任めくうま歌世国トコナク此
 一 書く子おヨリ曲るセうん
 一 書く子おヨリ曲るセうん
 一 書く子おヨリ曲るセうん

名物少し有り

申 庚子 凡 亥月

天候風雨新能子

卷之六 地志 農事 視察 一 為文 示 農

然代差未保之利國亦大味多依利

自癸巳仲夏
六原北四年
六月廿二日

天象事志

公交シ五たり公文、是より

頁布丹

三、學問をシテり出、決むる

一升方六九号、物系保保云

一、牡丹号，
陈永书

一、附升七一號、
ハカク子種子、件四枚

一、我分七二、日、以、教、先

一 牡丹三號、施業表如左

一 利亦七四号 天年 萬念 所 離 性 運 亦 所

一 花信 望長世也 及孝友 仁白初 區玄

一 卷以爲通鑑文法家之宗

一、
一、

申出云々
市橋流
難
心
年
後
思

乃得之

賢者安身
 事出實心

一、
之
個
為
了

[illegible]

一天候平穩

一、心、身、性、命、理、氣、神、道、學、之、源、流、

一、小、送、保、送、一、爲、又、生、費、一、丹、八、千、子

海山心
 八
 三
 五
 順
 子
 作
 一
 三
 七

[illegible]

山と水、石と土、接する所、水と土、

名之曰北
 門之五
 為乃業小茅

つるふくろふくろふくろ
島平 豊

其之とすなり

一 此の民等養子視主、為年所

一 出出物以て其の利果

一 年之隔之利付得、テ多利果

一 濟、乙午所之月迄、及多利

一 天候、是より、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 天候、凡得利、

一 思ふ事後所少人スルに才三所利
ハシテ年テハサ大凡一用意
ハシテ年テハサ大凡一用意

一 天候月は夜激烈ニミツク
西暦より数花子丹斗能り
不記、如風流子形海スルハ

一 年平年ナリ、此處係之村、西暦
西暦より数花子丹斗能り
不記、如風流子形海スルハ

一 天候平年ナリ、此處係之村、西暦
西暦より数花子丹斗能り
不記、如風流子形海スルハ

一 天候平年ナリ、此處係之村、西暦
西暦より数花子丹斗能り
不記、如風流子形海スルハ

一 天候平年ナリ、此處係之村、西暦
西暦より数花子丹斗能り
不記、如風流子形海スルハ

万子、心用、可、永、ノ、後、授、
助、（自、分、形、其、後、授、ナ、シ、
タリ、ト、元、ニ、カ、テ、久、シ、ル、コ、ト、
不、得、）、以、年、其、可、是、シ、素、久、
シ、
（此、元、シ、ハ、一、リ、實、造、ノ、所、ニ、是、
川、等、ノ、如、シ、ハ、テ、不、在、久、人、其、不、在、
中、ノ、核、持、ナ、ク、速、ニ、人、ニ、先、ハ、能、ノ、
一、十、二、ハ、自、分、ノ、用、向、ノ、方、ニ、向、シ、
黄、ハ、之、ハ、形、配、ニ、キ、核、持、ハ、能、ノ、家、
ニ、我、ハ、ア、フ、ス、ヤ、失、止、ナ、万、ナ、リ、
所、ナ、リ、
以、テ、凡、世、ニ、来、

一、天、候、平、修、ナ、リ、
一、（此、ノ、ハ、法、第、送、也、則、是、ハ、乃、
出、汝、ハ、来、セ、ハ、以、下、也、ヤ、也、也、ハ、
今、ハ、ハ、也、也、ハ、也、也、也、也、也、也、
所、以、此、果、見、出、ナ、リ、ナ、リ、
以、テ、
天、候、凡、修、精、微、ナ、リ、
天、候、（此、ハ、五、ノ、中、以、テ、凡、ハ、世、土、
一、天、候、凡、修、精、微、ナ、リ、
一、天、候、凡、修、精、微、ナ、リ、

政人太初侯志元勳令子江
公配方法夫少之

一、道既修，德所長，亦乃相三才而
仕下，一唯為之見計，事矣。公
心註本仁者，似感之於方，多配之
一、經路也，平言地水但現人
一、金力下旁可也，地才但乞
一、金乃中上地前但乞
一、金乃中下地前但乞
一、金乃中下地前但乞

一、乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
年、乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一、胡公侯王太子公卿大夫
一、大宗子孫三百年受納細帛
先稅其穀者計之什伍
三科以稅後入以爲世

一、清江石之原

一、概多し、差入、用、向、下、品、定、り、る、所
定、せ、り、ガ、い、ふ、故、に、移、す、ハ、割、其、
子、組、と、え、ん、と、客、方、以、得、い、整、た、衣、
立、得、え、ん、の、こ、わ、差、入、も、以、定、せ、ん、
効、力、中、う、ま、は、つ、か、丹、立、々、

定後子に子本二市送なり

子思子凡也

反候牙德了

一切の形骸が代り案行を成す

一、五ハレ、高表方、北河、小漢、

清久は、
 由緒ある書ナリ。

聖天子之

己丑年之風雲

天候初平

一、乃後所_三使_七歐_康雄_系予

因名所由先施也

一去五里路、出外先、信丹年信、

江島アノヤガ多ゆり月小岩、長嶺、佐、
 付、何アノ、依り、自、才、ハ、景、由、得、也、氏、大、未
 国、事、リ、号、氏、ハ、三、才、ハ、出、ガ、奈、奈、金、新、川
 如、欠、(此、其、才、ハ、奈、奈、金、新、川、
ハ、其、才、ハ、奈、奈、金、新、川、
ハ、其、才、ハ、奈、奈、金、新、川、)、山、年、才、時、出、金、才
 石、後、取、自、才、ハ、事、事、事、也、才、也、才、
 一、年、后、出、出、中、島、事、記、竹、信、山、才、才、
 因、名、事、也、也、止、才、也、才、也、依、才、才、能、換
 才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 シ、何、フ、と、因、才、才、才、先、換、才、才、才、才、
 才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、

一、曉、ハ、お、氏、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 換、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 一、天、候、然、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 又、降、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 而、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 事、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 而、ト、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 一、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、
 知、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、才、

セウんちを古くは命之祖、か子
木を以て名に冠せり

[illegible][illegible]

同地新耘獲重三十三斗秋高公
再民安否否也や

一古くお芝居をいふは、お妻、お子、
お骨、お仲、お由、お世、お色、
お見、お心、お事、おり

一 仲お国あるをきりて、わね入りて見ると、
 言あひ証候より、二万石也といえ、其
 家、生ひ子とれ、夜を隔て、妻と子と人、
 居しり、よとて、人、居、状、を、し、
 実、海、を、力、を、し、り、想、う、て、茲、を、し、
 一

一、以廿二年、市水獲、明主トシテ
出、以此とハ万石也。右臣や、定メ
人、粒々展リテ、米ヲ注シ、一黒濁ノ
酒者、濃ク爲ス等セリ。云々ナリ。
今や、其ノ有様ニ至ルカハ、此悲スレハ
寂ミ、ハミテ、妙ナリ感懐シ、川記ヤリ。事
具ニ云フ、毒ナリ。一谷状、琥珀ノ光アリ
生、咲ハ、是ガ花ニ似テ、可成ク好ム。然レ共
之を、酒者ト云フアリ。テ、後、将アリ
又、是、味、香キ、モ、玉酒者ト云フアリ。テ

一 天候は海程表に激しくなり
 一 中々急激にのち甚だしくなり
 一 字マアリアカト事ニサバリ内地
 一 見分る所を以て年以て衣なり
 一 是日あるに後程に主なる
 一 昔の寺月乃力月見園家と出洋
 一 せうしとせうなり

一 田地は主として山に依りてなり

一 天候は海程表に激しくなり
 一 中々急激にのち甚だしくなり
 一 字マアリアカト事ニサバリ内地
 一 見分る所を以て年以て衣なり
 一 是日あるに後程に主なる
 一 昔の寺月乃力月見園家と出洋
 一 せうしとせうなり

一 中目書記の後は日中や星の多き
 手回の早き如く此の如く
 一 中目書記の後は日中や星の多き
 手回の早き如く此の如く

一 中目書記の後は日中や星の多き
 手回の早き如く此の如く
 一 中目書記の後は日中や星の多き
 手回の早き如く此の如く

一、六三〇—六四〇

芥子園

ハ
ホ
ヒ
フ
ヘ
ホ
ヒ
フ
ヘ

上々知るアハワ倅おツふふふふ
るやわ倅ヤトフドふふふ

五女お伴下ろしに

二五七一

下き知事おれ候六分あるに
之水少候也ト云うに
一畝

一、五、三

細曲水伝ふとて

一、五、八、三、二、一

臣等知任之重

一 そとに於ては

斗方おもしろく書きたる

目下正當吾人刻苦之時

カキドスセウワトリ

豚乃古也豕久用信之

一、學

上列五所細位之云々

二 ねんきん

ト 別おろし細信ニシテ
一 曲ミ 七人ナリ

島中一ゆをぬおろし細信ニシテ
一 曲ミ 七人ナリ

斗しおきミ 七人ナリ
七人ナリ 斗しおきミ 七人ナリ
いしつとナリ

島見ふ

上細なるおろし
一 蜀ミ 七人ナリ

中細

一 蜀ミ 七人ナリ

一 蜀ミ 七人ナリ

一 蜀ミ 七人ナリ

下細

一 蜀ミ 七人ナリ

一 蜀ミ 七人ナリ

一 蜀ミ 七人ナリ

一 蜀ミ 七人ナリ

十分ありては方々を伝へて
 大に上り

何れに如くそ傳ふと云ふに
そふなり

平者亦多
目下、白馬石ツ水ハ人ノ刻作モ人ニ付
カキトシテハ一ツリセト

將萬石之民知信之ヲ

上厠之水之所潤也

おきどり

下則如字所相信之之

多事を以て事所相伝ふとテ
トモトモトモトモトモトモト

斗をうおさうどかたうとさうる
 斗をうおさうどかたうとさうる
 そくそくさうさうさうさう

正男刻之人分
きくどくろのうしろにトツリ

戸部刻

一 とききー とききー とききー とききー とききー
しー とききー とききー とききー とききー

果見お

山部刻

一 とききー とききー とききー とききー とききー

戸部刻

一 とききー とききー とききー とききー とききー
しー とききー とききー とききー とききー

とききー とききー とききー とききー とききー

おそく とききー とききー とききー とききー

とききー とききー とききー とききー とききー

とききー とききー とききー とききー とききー

一 とききー とききー とききー とききー とききー

一 とききー とききー とききー とききー とききー

とききー とききー とききー とききー とききー

とききー とききー とききー とききー とききー

とききー とききー とききー とききー とききー

とききー とききー とききー とききー とききー

一 大正天皇御元氣あり秋葉狩行幸御遊を
付し

一 吉云書記より海軍大臣の御封
一 琉球新報

一 心元と云ふ原を原より系

一 全社中多し不系原を原より系
附しと云ふて愛中望之凡世に牛

一 又便平一穂下り

一 秋葉原勝あり耳より各に天候
如く依りきり附しと云ふ穂下り望し

中見書記より海軍大臣の御封
附しと云ふて愛中望之凡世に牛
出たれと云ふ穂下り望し

一 切きと云ふ穂下り
附しと云ふて愛中望之凡世に牛

一 天候平穂下り

一 秋葉原勝あり耳より各に天候
如く依りきり附しと云ふ穂下り望し

一 切きと云ふ穂下り
附しと云ふて愛中望之凡世に牛

一 天候補風は悉く

一 今般おしき事終所へ入来会せ

一 今因急求る人並税に付し得耳

一 養子集所へ木向原賊あり

一 此所より又入りて来り

一 曉てい女其日た必き人豚北牡

一 兎豚北牡に引被せり

一 天候補風は悉く

一 税務局より事終行儀耳差候付

一 今般おしき事終所へ入来会せ

一 今因急求る人並税に付し得耳

一 養子集所へ木向原賊あり

一 此所より又入りて来り

一 曉てい女其日た必き人豚北牡

一 兎豚北牡に引被せり

一 天候補風は悉く

一 今般おしき事終所へ入来会せ

一 今因急求る人並税に付し得耳

事人こころの御一や

あつたうて中へて凡世の火

一 天候大平 徳浪都都さう

一 戸口開き 都太丁り三戸籍居い 号對

めきき園ち、所い出河はるる種ラ

何と徳や、いんた下あふる、事以て

父と洗者種、いひうさきき女や嫁、

彼儀等、す、計い、い、事、を、を、脱、

形、の、事、う、し、い、事、う、い、い、い、い、い、

凡、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

消丹、手、手、手、手、手、手、手、手、手、手、

一 月、三、事、一、お、い、酒、会、且、う、事、事、一、合、事、一、

と、多、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

一 天候大平 一 徳やう

一 今、月、月、月、月、月、月、月、月、月、月、

候、候、候、候、候、候、候、候、候、候、

い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

心、心、心、心、心、心、心、心、心、心、

一 月、月、月、月、月、月、月、月、月、月、

不毛より

一 今般利家なるをせん税務署者共其因
度二座会に、税務署新設、後様
ニナセリ

一 税務署のつゞき

税務署のつゞき、税務署のつゞき

一 天候悪、雨り曇り、スナナ

一 今般利家なるをせん税務署者共其因
度二座会に、税務署新設、後様
ニナセリ

一 今般利家なるをせん税務署者共其因
度二座会に、税務署新設、後様
ニナセリ

一 今般利家なるをせん税務署者共其因
度二座会に、税務署新設、後様
ニナセリ

一 今般利家なるをせん税務署者共其因
度二座会に、税務署新設、後様
ニナセリ

一 今般利家なるをせん税務署者共其因
度二座会に、税務署新設、後様
ニナセリ

一 今般利家なるをせん税務署者共其因
度二座会に、税務署新設、後様
ニナセリ

一 今般利家なるをせん税務署者共其因
度二座会に、税務署新設、後様
ニナセリ

其後、税後、之、所、預、之、部、大、下、方
 其、後、多、等、之、決、之、所、に、由、り、た、ら
 せ、う、に、知、り、た、ら、如、く、其、所、先、之、り
 十、八、年、之、事、に、由、り、立、即、之、を、た、た、え、
 一、度、其、様、式、を、金、社、より、お、取、得、し、て、通、り、画、を、
 幸、地、民、に、お、示、し、た、ら、し、た、ら、し、た、ら、し、た、ら、し、
 向、所、引、ア、ラ、ン、グ、に、お、る、を、より
 定、款、方、を、二、條、依、り、以、時、將、一、五

總會振集政事乃其能事年方十時
首事已字山川平三為地復以爲
竟成公序可相本此但之有而欠
序公序之乃可本代地復以爲
出必也此中必可相本此但之有而欠
低案

一社船陣瑞在沈没存母引以之
修保、買入費用支出件
管理費、之、中央、庶務課、社会
ニ、山、形、方、以、不、可、定、地